

# 新北市藝遊

日文版

新北市ニューアート新北市博物館と芸術文化情報

02 FEB. 2019

南傳佛教文化特展  
THERAVADA CULTURE EXHIBITION  
A DEEP RIVER RUNS FAR  
深河遠流

2018  
11.09  
2019  
04.21

金色大廳、  
第一特展區



世界宗教博物館  
MUSEUM OF WORLD RELIGIONS



## 深河遠流（深い川の遠き流れ）— 南伝仏教文化特別展

会期 即日より 04/21 まで

場所 世界宗教博物館



仏教はインドを起源とし、ガンジス川のようにインドの大地を潤しました。また、東に伝道され中国の黄河・長江へと向かい、メコン川、チャオプラヤ川、エーヤワディー川など東南アジアの流域にまで広がりました。

紀元前3世紀より、インド・マウリヤ朝のアショーカ王は僧侶を黄金の三角地帯（ミャンマー、タイ一帯）に派遣し、仏教を広めました。これにより、東南アジア地区は仏教と密接な機縁を結ぶこととなりました。

11世紀になると、スリランカの上座部仏教が、ミャンマー、タイ、カンボジア、ラオスに伝道され、南伝上座部仏教の信仰圏を形成し、ベトナム、マレーシア、インドネシアなどの宗教信仰と区別されるようになりました。

今回の特別展は、当該地域の南伝上座部仏教の中核として、3大テーマに分かれます。第一に、河流が交差して形成された南伝仏教文化マップ（マルチメディアインタラクション）。第二に、スタイルと姿形。第三に、禅修と信仰生活です。これらは、この数々の困難や紛争を繰り広げてきた土地において、それでも大河のように伝道の根を広げ、民衆の生活に溶け込んできた信仰文化を皆様を紹介します。

世界宗教博物館は生誕17周年を迎え、皆様と共にこれを祝賀するためにこの特別展を計画しました。身体をその地に移動させることはできなくとも、心を馳せることはできます。共に仏教伝承千年の文化的進化を感じてください。そして、川の流れと共に脈々と広がった信仰のエネルギーの深さ、悠久の長い道のりを細部にわたりご堪能ください。

📍 新北市永和区中山路一段236号7階  
☎ 02-8231-6118

📍 台北MRT中和新蘆線（オレンジライン）→「頂溪駅」1番出口→「比漾広場（BEYOND PLAZA）」無料シャトルバス乗車→世界宗教博物館・中山路一段正門で下車（シャトルバスは午前11時より発車）。

## 枠の外側—台湾の映画職人特別展

会期 即日より 03/03 まで

場所 3階、4階、5階展示室



職人とは専門的な技術を持ち、ひたすら自分の持ち場で創作を続ける人を指します。一方映画とは、一般に知られることのない創作者が、スクリーンの外側で作出した努力の結晶です。7周年記念を迎える府中15では、そんな映画職人の持ち物や、再現された撮影現場などを展示する

「枠の外側：台湾の映画職人特別展」を開催します。映画ファンも映画産業に興味のある方々もぜひお越しいただき、一緒に映画職人に敬意を表しましょう。

### 板橋区 府中15

🚌 バス→ 停「府中駅」か「板橋区公所」で下車し、徒歩約3分で到着。

🚇 MRT → 板南線に乗り、府中駅で下車。2番出口を右へ進み、徒歩約40mで到着。もしくは1番出口を右へ進み、道を渡って直進。約3分で到着。



📍 新北市板橋区府中路15号  
☎ 02-2968-3600#211  
🕒 09:00-18:00（第一月曜日休館）

## 春の菊花展 — 2019年林本源園邸の新春イベント

会期 02/06-02/19

場所 新北市国定古跡林本源園邸



林本源園邸では旧暦の正月に香玉移庭園で菊花展が開催されます。菊の花は、縁起の良いことを表わす「吉祥」、「吉利」などの語と発音が似ているため、林家の人々は毎年、正月に菊をテーマとした詩を吟じ、新たな一年の幸せを願いました。また、獅子舞、古楽団の演奏、民謡鑑賞、「好運を呼ぶガチャガチャ」、抽選会、ミニ唐傘と提灯制作など様々なイベントやパフォーマンスが計画されています。春の到来を告げる旧正月をぜひ一緒に楽しみましょう。

ニ唐傘と提灯制作など様々なイベントやパフォーマンスが計画されています。春の到来を告げる旧正月をぜひ一緒に楽しみましょう。

### 板橋区 新北市国定古跡林本源園邸

🚗 自動車 → 台北市和平西路三段から、華江橋を渡って文化路を直進し、民権路を右折したらすぐ左折します。運動場に沿って進むと到着します。

🚌 バス → 264、307、310、701、702に乗り林家花園駅で下車いただくと、板橋林家花園に到着します。

🚇 MRT → 板南線（青ライン）「府中駅」で下車し、1番出口から徒歩約8分。



📍 新北市板橋区西門街9号  
☎ 02-2965-3061#23  
🕒 09:00-17:00（第一月曜日休館）

## 2018台湾セラミックビエンナーレ

会期 即日より 03/03 まで

場所 301-304号室



世界的な四大陶芸ビエンナーレの一つが、「陶芸の人文的回帰・芸術の精神を原点から語る」をテーマに鶯歌セラミック博物館で盛大に開催されています。開催からすでに7回になるセラミックビエンナーレにおいて、初めての台湾人、そして世界的に有名な陶芸家 邵婷如がキュレーターを担当しました。世界18ヶ国43人の陶芸家を招き、80組の作品を展示して、創作と時代の変遷の間の脈絡を深く研究します。台湾の古参の方々や各国の重鎮クラスの陶芸家が出展しているだけでなく、さらにアジア各国の大きな博物館から所蔵品を借り受け、これまでを凌ぐ精彩を放っています。

### 鶯歌区 新北市立鶯歌陶磁博物館

🚗 自動車 → 国道3号線高速道路三鶯インターチェンジ（交流道）を下りて、鶯歌方向へ進み、三鶯橋を渡って文化路公共駐車場へ。

🚌 バス → 台北客運バス702、851、917、981に乗りするか、桃園客運バス（鶯歌方向）に乗り。

🚇 鉄道 → 台湾鉄道の区間車に乗り鶯歌駅にて下車。文化路出口から駅を出て、徒歩約10分。



📍 新北市鶯歌区文化路200号  
☎ 02-8677-2727  
🕒 月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）

## 顔友—台湾原住民の人面文物特別展

会期 01/23-06/09

場所 2階ギャラリー



十三行博物館の人面土器が顔友を招集しました。温厚な顔、微笑みを浮かべる顔、陶製の顔、木彫の顔など、様々な人の顔が一堂に会し、それぞれの物語を語ります。台湾で出土した人面や人型の装飾模様は、形とスタイルにそれぞれの趣きがあるだけでなく、台湾原住民の社会では、重要な歴史的由来と意義を持っています。ぜひ十三行博物館に足を運び、面白い顔友たちのことを知ってください。

## 鉞・事・紀—水金九鉞山現代アート展

会期 即日より03/03まで

場所 鍊金楼1階特別展示室、金水特別展示室、四連棟、鍊金広場、黄金館2階



古代ローマの有名な詩人 オウィディウスは人類の世紀を金、銀、銅、鉄の4つの紀元に分けました。世界各地の歴史的变化は、ほぼ同時に類似した原型を形成していますが、そのうち特に黒鉄時代には、限らない欲望が形成され、人間は境界によって土地を分けし国家とし、また鉞物を掘り出す技術を学びました。今回出展した芸術家の多くが鉞業の歴史を探究する中で手掛かりを得ています。同時にまた時代という大きな車輪の下で見過ごされた歴史を掘り起こし、人、物質、地理的空間とまだ温もりが残る証拠によって、人の感覚により近い現実を新たに描いたのです。

## 新北市客家文化園區

会期 即日より

場所 新北市客家文化園區



台北盆地は、漳州人及び客家の人々が最初に入植開拓した場所であり。新北市庁は市内の客家同胞の力を凝集し、客家の歴史と文化をわかりやすく、三峡区に「新北市客家文化園區」をオープンいたしました。新基軸を打ち出すほか、園内に生命力を与えるよう強調します。「都会の客家」を中心に、「文化の革新」をメインテ

ーマとします。研究・保存・客家文化の普及・会合・リゾートなどを兼ねて、色んな機能を計画します。施設には、芸靚坊、映像ホール、学習センター、会議室、禾埕広場、常設展示室、巧之芸廊、蔵書室、演芸ホール、レストランと売店を設営します。

## 共茗—世界茶文化の旅

会期 即日より11/10まで

場所 展示館B1



東洋から西洋に広まった中国発祥のお茶は、今や世界中で愛される大衆的な飲み物となり、民族や国ごとに、様々な特色を持った茶文化が育まれています。そこで、坪林茶業博物館は今回、世界の茶文化に関する特別展を心を込めて企画。「共茗」をテーマに、世界各地の面白い茶文化を皆様にご覧に入れます。モンゴル・チベット民族、日本、ロシア、トルコ、イラン、アラスカなどのお茶の飲み方を一度にご覧いただけるほか、会場には異国情緒あふれる茶室や、異国の衣装に替えて楽しめるインタラクティブ体験もあり、賑やかな世界茶文化カーニバルさながらの展示をお楽しみいただけます。

## 子供たちと共に心を清めに行こう—「地球を守ろう」絵画作品展

会期 即日より02/28まで

場所 滬水一方芸文空間4階



環境保護を重視する康舒科技と許潮英慈善基金会は、共同で省エネ、二酸化炭素削減、環境保護を趣旨とする「地球を守ろう」絵画コンテストを開催します。作品は、中学生と小学生による気候の変化や環境保護に対する関心、そして災害に対する配慮を表現したものです。将来の主人公たちが地球の環境に対して抱く願いが現われた作品を、ぜひご鑑賞ください。経済発展を追求しつつも、どのような地球を次世代に残すべきか、共に考えましょう。

### 八里区 新北市立十三行博物館

自動車→台15号線：関渡大橋→台15号線を八里方向（龍米路）へ→中華路→文昌路→博物館路→十三行博物館

MRT → 1. 淡水線「淡水駅」→渡し船→紅13番バス→十三行博物館、または、渡し船→紅22番バス、704番バス→仁愛路口→徒歩5分→十三行博物館。  
2. 淡水線「関渡駅」紅13番バス→十三行博物館、または紅22番バス→仁愛路口→徒歩5分→十三行博物館。



DATA 新北市八里区博物館路200号

02-2619-1313

09:30-17:00（第一月曜日休館）

### 瑞芳区 新北市立黄金博物館

1. 台北—金瓜石：台北 MRT「忠孝復興」駅2番出口前にて基隆客運（バス）1062系統に乗り→瑞芳、九份を経て終点「金瓜石」にて下車。  
2. 基隆—金瓜石：鉄道「基隆」駅前の「基隆火車站（仁祥診所）」停留所で基隆客運（バス）の788系統に乗り→瑞芳、九份を経て「金瓜石」にて下車。

鉄道 → 「台北」駅で東部幹線の宜蘭・花蓮方面行き列車に乗り→「瑞芳」駅にて下車→新北市警察瑞芳分局協（区民広場）の「地政事務所前」停留所で基隆客運（バス）の1062系統、788系統に乗り→「金瓜石」にて下車。



DATA 新北市瑞芳区金光路8号

02-2496-2800

月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00（第一月曜日休館）

### 三峡区 新北市客家文化園區

バス → 台北客運バス702番、851番（休日運休）、917番、981三鶯線先導バス、桃園客運バス5005番（三峡-桃園）。

鉄道 → 台湾鉄道「鶯歌站」駅で下車し、桃園客運バス5005番（三峡-桃園）または、台北客運バス981三鶯線先導バスに乗り換え。

MRT → 1. 板南線（青ライン）「永寧駅」→台北客運バス917、981三鶯線先導バス。  
2. 板南線（青ライン）「頂埔駅」→台北客運バス981三鶯線先導バス。



DATA 新北市三峡区隆恩街239号

02-2672-9996

月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00（第一月曜日休館）

### 坪林区 新北市坪林茶業博物館

自動車 → 新店または宜蘭から省道台9号線を通り、北宜線または国道5号に入ると到着します。景美からは106線で木柵、深坑、石碇106乙線道を通り、關瀨から坪林行きの産業道路に入れば到着します。

MRT → 新店駅で下車し、923または緑12の新店客運バスに乗り換えて坪林中学駅で下車、徒歩約5分で到着します。



DATA 新北市坪林区水德里水尊凌坑19-1号

02-2665-6035

月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-17:30（第一月曜日休館）

### 淡水区 新北市立淡水古跡博物館

滬水一方芸文空間

自動車 → 台北方面から省道台2乙線に沿って士林、石牌、北投を経由し、大度路へ進みます。関渡大橋を渡り、淡水の竹園、紅樹林に入ってから、淡海方面に進むと標識案内が見えます。

MRT → MRT各路線から直通又は乗り換えて淡水駅まで向かい、案内標識に従って857番バス・紅26番バス・836番遊園バスのいずれかに乗車。

バス → 国光客運又は基隆客運（基隆-金山-淡水線）に乗り。MRT淡水駅で下車後、案内標識に従って857番バス・紅26番バス・836番遊園バスのいずれかに乗車。



DATA 新北市淡水区觀海路91號5階

02-2805-0308

月曜～金曜 10:30-17:00、土曜～日曜 10:30-18:00（第一月曜日休館）